

『私たちと暮らしを支える税金』

新潟県立村上中等教育学校 3年
高橋 由梨佳 さん

私たちの身のまわりには、たくさんの税があります。所得税、法人税、たばこ税などです。これらの税は大人が支払うものですが、私達中学生も、買いものをする時に、消費税という税金を払っています。私達は、税金を払って生きているのです。

では、それらの税金は、何に使われるのでしょうか。税金は、私達の生活を守るために使われています。例えば、私達が普段使っている教科書。これらは無料で私達に配られています。なぜ教科書は無料なのでしょう、それは、税金が使われているからです。教科書の裏面をよくみると、「この教科書は、税金によって無償で支給されています。」と書いてあります。また、警察や消防隊などは、私たちがお金を払わなくても、動いてくれます。それは、彼らがボランティアで人助けをしているわけではなく、私達が払った税金によって動いているからなのです。他にも、健康診断や、予防接種などの医療、新潟県で多く降る雪の除雪にも税金が使われています。このように、税金は、私たちが安心、安全な生活をおくれるために使われているのです。

これらの公共サービス、公共施設を提供しているのは、財政です。財政は、他にも所得が多い人に税負担を大きくして、国民間の所得の開きを縮めたり、

景気の良い時に税負担を大きくして、景気の変動をゆるやかにしたりする役割があります。

これからの日本には、少子高齢社会が到来します。高齢者が増え、年少者が減るといふこの現象は、将来の社会に大きな問題を投げかけています。

税金についても、例外ではありません。少子高齢社会の問題の一つは社会保障の費用が増えること、もう一つはその費用を負担する働き手が減っていくことです。

老後の安定した生活や健康で文化的な社会を実現するための費用の中心は税金です。少子高齢化が進んでも、一人ひとりが安心して暮らせるためには、どうすればよいのでしょうか。これを実現するために、国は消費税率をあげているのです。税収が安定し、高い財源調達力がある消費税を引きあげることで、将来世代への負担の先送りを減らし、社会保障制度の持続可能性を高めているのです。

このように、私たち国民が支払っている税金は、私たちが安心安全な生活を送れるように、様々なことに使われています。つまり、私たちは、税を納めることで、おたがいの命を守っているのです。税を納めることは、国民の義務です。私も、社会に出たら、しっかりと税を納め、国の役にたちたいです。

